

日本書紀「神代」の真実

邪馬台国からヤマト王権への系譜

伊藤雅文(著) ワニブックスPLUS新書

令和2年10月発行 定価 900円(税別)

『日本書紀』は、神武天皇が即位される前の日本についても書き記しています。それらの「神話」は創作であるとされてきましたが、本当にすべてが架空の物語なのでしょうか。

『日本書紀』編纂者たちが、冒頭二巻を費やして夢物語を脈絡なく書き連ねたとは思われません。きっと、そのモデルとなった人物がいて、モチーフとなった出来事があったはずですよ。

本書では、編纂者たちが「神代」の本文に書き残した「真実の系譜」を復元することにより、ヤマト王権誕生以前の日本で何が起きていたのかを解き明かしていきます。

真実解明への鍵を託されたのは、へすべての事を知る神、事代主神でした。はたして真実への扉を開けば、どんな世界が見えてくるのか？そこに邪馬台国はあるのか？女王卑弥呼はいるのか？

